

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月1日 (2018.2.1)

【公開番号】特開2016-168276(P2016-168276A)

【公開日】平成28年9月23日 (2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-056

【出願番号】特願2015-51326(P2015-51326)

【国際特許分類】

B 2 6 B 19/38 (2006.01)

B 2 6 B 19/16 (2006.01)

B 2 6 B 19/44 (2006.01)

【F I】

B 2 6 B 19/38 C

B 2 6 B 19/16

B 2 6 B 19/44 C

B 2 6 B 19/38 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月15日 (2017.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グリップを兼ねる本体ケース（1）と、本体ケース（1）で傾動可能に支持されるかみそりヘッド（2）を備えており、

かみそりヘッド（2）は回動軸（38）を中心にして所定方向へ傾動可能に支持されて、本体ケース（1）とかみそりヘッド（2）の間に配置した復帰ばね（45）で傾動待機位置へ向かって復帰付勢されており、

回動軸（38）が、回動軸（38）の軸端と正対する向きから見るときのかみそりヘッド（2）のヘッド中心軸（P1）に対して偏寄配置してあることを特徴とする電気かみそり。

【請求項 2】

回動軸（38）の軸端と正対する向きから見るときのかみそりヘッド（2）の重心（G）が、回動軸（38）の中心を通る垂直軸（V）に対して偏寄させてある請求項 1 に記載の電気かみそり。

【請求項 3】

かみそりヘッド（2）の切断刃面が、回動軸（38）の中心を通る垂直軸（V）に対して偏寄させてある請求項 1 または 2 に記載の電気かみそり。

【請求項 4】

回動軸（38）がかみそりヘッド（2）の下部に配置してある請求項 1 から 3 のいずれかひとつに記載の電気かみそり。

【請求項 5】

かみそりヘッド（2）のヘッド中心軸（P1）が、回動軸（38）の軸端と正対する向きから見るときの本体ケース（1）のグリップ中心軸（P2）に対して、重心（G）側へ傾斜している請求項 2 から 4 のいずれかひとつに記載の電気かみそり。

【請求項 6】

かみそりヘッド（２）の下部に、本体ケース（１）の上部を左右から挟む門型の連結凹部（３７）が形成されており、

連結凹部（３７）の対向壁と本体ケース（１）の間に回動軸（３８）を配置して、かみそりヘッド（２）が前後傾動可能に支持してある請求項１から５のいずれかひとつに記載の電気かみそり。

【請求項７】

本体ケース（１）とかみそりヘッド（２）が、いずれか一方に設けた回動軸（３８）と他方に設けた軸受部（３９）で連結されており、

回動軸（３８）と軸受部（３９）の嵌合面に、互いに接当してかみそりヘッド（２）の傾動範囲を規定する傾動規制構造が設けてある請求項１から６のいずれかひとつに記載の電気かみそり。

【請求項８】

かみそりヘッド（２）にロータリー式の内刃（７）が配置されて、内刃（７）を回転駆動する駆動構造が本体ケース（１）の上部から内刃軸（７ａ）にわたって配置されており、

駆動構造は、本体ケース（１）の内部に設けた前段駆動部（Ｔ１）と、前段駆動部（Ｔ１）の回転動力を内刃軸（７ａ）に伝動する次段駆動部（Ｔ２）を備えており、

前段駆動部（Ｔ１）は、モーター（３）と、モーター（３）を支持するモーターホルダー（５９）と、モーターホルダー（５９）の左右に固定されて同ホルダー（５９）より上方へ突出する一对の駆動部フレーム（６０）と、モーターホルダー（５９）および駆動部フレーム（６０）に組付けたギヤトレインを備えており、

かみそりヘッド（２）が一对の駆動部フレーム（６０）に設けた回動軸（３８）を中心にして前後傾動可能に支持してある請求項６または７に記載の電気かみそり。

【請求項９】

駆動部フレーム（６０）が金属製のフレームベース（６４）と、プラスチック成形品からなるフレーム枠（６５）を一体化して形成されており、

フレーム枠（６５）に回動軸（３８）が一体に形成してある請求項８に記載の電気かみそり。

【請求項１０】

本体ケース（１）の上部にかみそりヘッド（２）を傾動待機位置へ向かって復帰付勢する復帰ばね（４５）が設けられており、

復帰ばね（４５）が、本体ケース（１）およびかみそりヘッド（２）の左右中心に配置してある請求項４から９のいずれかひとつに記載の電気かみそり。

【請求項１１】

本体ケース（１）およびかみそりヘッド（２）の左右中心の前後いずれか一方に復帰ばね（４５）が配置され、他方に復帰ばね（４５）へ向かって先すばまり状のクリーニング空間（Ｓ）が形成してある請求項１０に記載の電気かみそり。

【請求項１２】

クリーニング空間（Ｓ）の前部に臨んで水ガイド面（１３７）を形成し、水ガイド面（１３７）の両側端に、洗浄水をクリーニング空間（Ｓ）の中央へ向かって案内する導水面（１３８）が斜めに形成してある請求項１１に記載の電気かみそり。

【請求項１３】

捩じりコイルばねからなる復帰ばね（４５）がばねホルダー（４６）に装着されており、

ばねホルダー（４６）が、本体ケース（１）の上部に設けた締結座（５２）にビス（５１）で締結固定してある請求項１０から１２のいずれかひとつに記載の電気かみそり。